球体腎炎19%、

慢性糸球体腎炎

は糖尿病性腎

導入患者の原疾患

原因疾患とし

(2010年)

47.3%

18.9%

8.6%

3.6%

2.7%

2.0%

83.1%

約3万80

人が新た

血液透析に導入され、

人が亡くなられてに導入され、約2

次いで腎硬化症であります。

慢性糸球体腎炎19%

腎硬化症とは、

あまり聞きな

っております。

日本では1年

されているとおり、

糖尿病が 上記に示

入となる原疾患は、

奈良県における血液透析導

断も66歳と高齢化が著明にな

年齢は77歳、

透析患者平均年

られておられます。

導入平均

人が治療を受け

、現在30万人超と全国民の透析患者は年々増加してお

おられます。

当たりの透析

あれこれ」で、

趣旨で開催されている。

奈良市学園南3丁目の奈良市西部会館で開かれた。

尿病が約半数を占めることから、

新

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

どを話した。

くことが大切であること、

高の原中央病院

透析センター

長

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

12



* * * * * * * * * * *

青 氏

臓病について正しい知識を持ち、慢性腎臓病を治療してい が講演した。 透析患者は増加しつつあり、その原疾患は糖 は、広く県民読者に健康について考えていただこうという 第29回市民公開健康講座(奈良新聞社主催)が9月25日、 青山秀雄・高の原中央病院透析センター長 今回のテーマは「腎不全と透析の 合併症の予防に留意することな 糖尿病をはじめとする腎 同講座

* * * * * * * * * * * * * *

持続するようであれば、

返し検査を施行

(運動後、

病による腎不全が猛烈なスピー年には16%であったものが、

冬

下するものであり、高度な蛋すが、高血圧により腎の動脈すが、高血圧により腎の動脈 てくるのではないかと考えら 日尿を伴わないのが特徴であ 下するものであり、 今後ます

ドで増加しております

後が良くないことが示唆され 生存率66%に比較す 性腎炎による透析患者の10 半数を占める『国民病』 10年生存率は27%と低く、 生存率は27%と低く、慢糖尿病による血液患者の です 子

糖尿病の診断は空腹時 血糖 未然に糖尿病にならない 普段から年1 一回程度の定

で、普翇から 1 三星度り 比較的簡単に施行できます 値やHgA1c値などにより 十分な注意が望まれます 期検診などを欠かさず受け

糖尿病は

血液透析患者の約 形があれば腎臓の糸球体異常

透析風景

死亡原因

その他の心不全

菌血症・敗血症

肺炎・肺化膿症

消化器悪性腫瘍

脳血管障害

その他

不 明

(2010年)

23. 1%

13.3%

11.6%

8.7%

6.9%

5.8%

4.0%

①血尿=尿中の赤血球に変あります。

* * * 腎実質異常の判定に有用であ 接な指導が必要であります 末期腎不全に至る可能性が ③尿沈渣=

定するものです。 レアチニンやGFRの異常が 皿液検査により、 4クレアチニン、 蛋白尿が持続し、 腎機能を測 G F

医師による定期 ことです。 おります。他に、リン、蛋白防ぐことができると言われて 制限や肥満の予防も必要であ さらには腎機能低下 病の方は血糖管理を徹底する ルは重要です。 、全身の合併症の予防、

するためやや侵襲的な検査で に腎生検というのがありま しているかを確認する検査法 が、これにより適切な治療 腎臓にいかなる病変が発生 腎臓から直接組織を採取

談の上、留意事項を

守っていただ

かねば

がありますが、2~3回繰り ②蛋白尿=蛋白 発熱)と持続性 尿には一過 す な経過観察が必要でありま

器に悪影響がありますが、 圧が持続すれば、 意が必要であります。 指摘された時には、 に高血圧の管理です。 医師により腎臓病の存在を 全身の諸臓 以下の 高血

=尿検査の一

専門医による密

機能低下がさらに進行しま 血圧の適度のコントロ 第二に、糖尿 注意が必要です。

つらいこともありますが、将来にやって くるかもしれない視 くるかもしれない視 がするには、諸々の 防するには、諸々の 注意が必要でありま 度な運動、禁煙など、のコントロール、適 患者さんにとっては 血圧のコントロー

血糖の厳格な管理

の進行を

が疑われます。 高血圧

糖尿病の合併症

栄養障害 易感染症

低栄養、浮腫 悪液質、免疫力低下 抵抗力低下 脂質代謝障害 高脂血症

動脈硬化症 脳動脈硬化症(脳梗塞) 虚血性心疾患(心筋梗塞) 閉塞性動脈硬化症(足壊疽) 腹部動脈硬化症

高血糖

末梢神経障害 自律神経障害 神経・筋障害 糖尿病性腎症 ネフローゼ症候群 腎機能低下 腎障害

視力障害

心不全 感染症

脳血管障害 悪性腫瘍

糖尿病性網膜症 眼底出血 白内障、緑内障

8・5%、感染症21%、悪性 は、心不全4%、脳血管障害 が亡くなられる疾患 *透析患者の死因

らないためにどう注意すれば状を示して、末期腎不全に至 せていただきました。いいのか等の問題点を いのか等の問題点を指摘さ

合併症が発生しやす かとたび糖尿病と

す。
法が明確になることもありま 慢性透析患者の死亡原因推移 (%) 40 30 20 10 83 84 88 92 85 86 87 89 90 91

02 (年) 96 97 98 99 00 症が出現します。高と全身に諸々の合併 ます。 血圧·低血圧·心不 水透析 患者 腫瘍21%などであり

心梗塞 93 94 95 日本透析医学会統計資料「2002年末わが国の透析医療の現況」 ます。全身の臓器に が必要なこともあり 科などの医師の診察 外科の医師のお世話 全·心筋症·不整脈 米まとめ 症であります。骨関 てくるのです。 節障害が出現し整形 などは循環器系合併 になることもありま いろいろな症状が出 その他、

*腎臓病の検査

腎硬化症 急性進行性腎炎 分類不能腎炎 のう胞腎

糖尿病

糖尿病を原疾患 とであり、 腎硬化症9%な

とする導入患者

するには下記の検査が有用で腎機能の異常を早期に発見